

令和3年度 事業報告 (案)

資料 2

全国科学博物館協議会

1 管理運営

事項	内容
第1回 理事会	<p>期 日 令和3年6月2日 (水)</p> <p>会 場 オンライン開催 (発信会場: 国立科学博物館)</p> <p>出席館 18館 (監事館を含む)、委任状提出2館</p> <p>議 事 次の議事について審議し、承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和2年度事業報告 (案) について 2) 令和2年度収支決算 (案) について 3) 令和3年度事業予定 (案) について 4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・世界自動車博物館会議日本大会実行委員会規程 (案) について ・全国科学博物館協議会会則の改正について
第1回 総 会	<p>期 日 令和3年6月2日 (水)</p> <p>会 場 オンライン開催 (発信会場: 国立科学博物館)</p> <p>出席館 出席者: 101名 (正会員76館園及び維持会員5団体、購読会員2団体) 委任状提出: 123館園・団体 (正会員115館園及び維持会員8団体)</p> <p>議 事 次の議事について審議し、承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和2年度事業報告 (案) について 2) 令和2年度収支決算 (案) について 3) 令和3年度事業予定について 4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・世界自動車博物館会議日本大会実行委員会規程 (案) について ・全国科学博物館協議会会則の改正について <p>行政説明 「文化庁の博物館支援に関する取組」 文化庁企画調整課長 平山 直子</p>
第2回 理事会	<p>期 日 令和4年2月17日 (木)</p> <p>会 場 オンライン開催 (発信会場: 国立科学博物館)</p> <p>出席館 19館 (監事館を含む)、委任状提出1館</p> <p>議 事 次の議事について審議し、承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和4年度事業計画及び収支予算 (案) について 2) 研修事業について <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和4・5年度の役員館園について 2) 世界自動車博物館会議日本大会準備の進捗状況について
第2回 総 会	<p>期 日 令和4年2月17日 (木)</p> <p>会 場 オンライン開催 (発信会場: 国立科学博物館)</p> <p>出席館 出席者: 170名 (正会員87館園及び維持会員5団体) 委任状提出: 79館園・団体 (正会員74館園及び維持会員5団体)</p> <p>議 事 次の議事について審議し、承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和4年度事業計画及び収支予算 (案) について 2) 研修事業について <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和4・5年度の役員館園について 2) 世界自動車博物館会議日本大会準備の進捗状況について <p>行政説明 「今後の博物館振興方策について」 文化庁企画調整課企画官 平木 万也</p> <p>報 告 「文化審議会博物館部会WGにおける博物館法改正の議論と自然科学系博物館の今後」 大阪市立自然史博物館学芸課長 佐久間 大輔</p> <p>講 演 「自然史情報を次世代につなぐために地域博物館ができること —三重県総合博物館の昆虫分野の活動から—」 三重県総合博物館学芸員 大島 康宏</p>

2 事 業
 (1) 研 修 事 業

事 項	内 容
学芸員専門研修 (アドバンス・コース)	1月17日(月)、24日(月)、31日(月)の3日間で 「オンライン学芸員研修(初級編)」を実施した。
学芸員オンライン研修	4月15日(木)にオンライン研修「博物館法の見直しの動きを知る」を行い、53名の参加があった。
海外科学系博物館 視察研修	新型コロナ禍の現状に鑑み、令和3年度は実施を中止した。
海外先進施設調査	新型コロナ禍の現状に鑑み、令和3年度は実施を中止した。

(2) 連 携 促 進 事 業

事 項	内 容
研究発表大会	<p>科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資することを目的とし、第29回研究発表大会を開催した。</p> <p>期 日 令和4年2月18日(金) 会 場 オンライン開催(発信会場:国立科学博物館) 司会進行 福岡市科学館 高安 礼士、国立科学博物館 小川 義和 参 加 者 189名 テ ー マ 博物館の社会的役割を考える～変動する社会における博物館の運営と活動～</p> <p>○口頭研究発表 18件</p> <p>① 「新しい生活様式」に対応した展示解説手法の検討 東京工業大学博物館 宮前 知佐子</p> <p>② ウィズコロナにおける博物館運営と体験コーナーの維持について 京都鉄道博物館 岡本 健一郎</p> <p>③ 博物館と利用者に意識変化は起きるのか～コロナ禍のハンズ・オン展示をふまえて～ 神奈川県立生命の星・地球博物館 田口 公則・大島 光春</p> <p>④ コロナ禍のもとでの特別展:「大阪アンダーグラウンド」展を中心とした大阪市立自然史博物館の事例 大阪市立自然史博物館 石井 陽子</p> <p>⑤ コロナ禍に新規開館をした「みなと科学館」の取り組み 港区立みなと科学館 福島 郁子</p> <p>⑥ 非対面・非接触で行う市民参加の展示制作イベント「あなたの発見おしえてください」 千葉県立中央博物館 林 浩二</p> <p>⑦ 幼児と親に豊かな博物館体験を提供することを目指してーウィズコロナ時代における試みー 神奈川県立生命の星・地球博物館 石浜 佐栄子・加藤 ゆき・大坪 奏・広谷 浩子</p> <p>⑧ おうちで実物資料を観察する『おうちで自然観察』の報告～自然史系博物館の社会的役割を考える～ 鳥取県立博物館 川上 靖</p> <p>⑨ リモート配信への挑戦と新しい生活様式に向けた課題 トヨタ産業技術記念館 田中 雄一</p> <p>⑩ オンライン講座「こども天文クラブ」を実施して 明石市立天文科学館 石井 優子</p> <p>⑪ オンラインイベントを実施して見えた特長と課題 はまぎん こども宇宙科学館 宮野 嶺</p>

	<p>⑫ 水生生物の回廊創出を通じた広域多重地域連携 千葉県立中央博物館 林 紀男</p> <p>⑬ 「鳥取地学会化石部」は起爆剤となるか？—博物館と地元団体の連携と活性化を模索する— 鳥取県立博物館 田邊 佳紀</p> <p>⑭ 変動の時代だからこそ、変わらずあり続けること～コロナ禍でのボランティア・市民団体との関係～ 多摩六都科学館 原 朋子</p> <p>⑮ ミュージアムの社会的役割 ～クリティカル・シンキング (Critical Thinking) の視点から検証する～ 千葉市科学館 新 和宏</p> <p>⑯ 防災を展示する 岐阜県博物館 熊澤 忍</p> <p>⑰ 九州大学と連携した科学と表現を組み合わせた講座『ジュニア科学者養成講座』の活動報告 福岡市科学館 井上 香織・吉田 宗可</p> <p>⑱ プラネタリウムの学習投影による学校理科教育支援～広島市こども文化科学館の事例～ 広島市こども文化科学館 小出 美由紀</p> <p>○ポスター発表 9件</p>
<p>巡回展の実施協力</p>	<p>国立科学博物館製作による巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」及び「日本の生物多様性とその保全」、「ダーウィンを驚かせた鳥たち」、「琉球の植物」、日本宇宙フォーラム製作の「人類の月着陸アポロ計画から半世紀・記念企画展『アポロ展』」、産業技術総合研究所地質標本館製作のパネル展「祝チバニアン誕生！拡大版—もっと知りたい千葉時代—」、「深海の新しい資源にせまる—SIP プロジェクトによる革新的な地質調査—」、「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」、「地球の時間、ヒトの時間—アト秒から 46 億年まで 35 桁の物語—」、「美しい砂の世界—日本の砂、世界の砂、地層の砂—」、「時」展覧会2020実行委員会製作のパネル展「時の記念日100周年『時』展覧会2020」の案内周知を行うなどその開催実施に協力した。</p>
<p>科学系博物館ネットワークシステム事業への協力</p>	<p>国立科学博物館が行っている科学系博物館情報ネットワークシステム事業 (S-net) について、事業推進に協力した。</p>
<p>事業に対する後援</p>	<p>加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、適当と認められた事業に対し後援を行った。 9件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「博物館の達人」認定 (独立行政法人国立科学博物館、一般財団法人全国科学博物館振興財団) 2) 「青少年のための科学の祭典 2021」各大会 (「青少年のための科学の祭典」各大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団) 3) 夏休みあいちサイエンスフェスティバル2021 (国立大学法人名古屋大学) 4) あいちサイエンスフェスティバル2021 (国立大学法人名古屋大学) 5) 令和3年度展示論講座 (日本展示学会) 6) 千葉市科学フェスタ2021 (千葉市、千葉市教育委員会、千葉市科学館) 7) 第38回植物画コンクール (独立行政法人国立科学博物館) 8) 令和3年度科博オンライン・セミナー～サイエンスコミュニケーション初級編～ (独立行政法人国立科学博物館) 9) ミュージアムにとってのジャパンサーチ (国立国会図書館)

(3) 広報普及事業

事項	内容
機関誌の発行	<p>全科協ニュース編集委員会を開催し、特集テーマ等加盟館園にとって有益な情報を掲載するよう内容の充実を図った。</p> <p>「全科協ニュース」を年6回編集発行した（A4判16頁内カラー4頁、900部）</p> <p>第51巻第3号（R3年 5月） 特集：新型コロナウイルスパンデミック下で教育・普及活動はどう実施してゆくか</p> <p>第51巻第4号（R3年 7月） 特集：SDGsと科学博物館</p> <p>第51巻第5号（R3年 9月） 特集：With & After COVID-19時代の科学系博物館</p> <p>第51巻第6号（R3年11月） 特集：巡回展示物の開発から活用まで</p> <p>第52巻第1号（R4年 1月） 特集：博物館法の改正を考える</p> <p>第52巻第2号（R4年 3月） 特集：博物館におけるICT活用の可能性～コロナ禍を超えて～</p>
入会案内及び広報活動	<p>全科協ホームページの運営方法と内容を随時見直し、facebookを活用するなどして情報及び内容のさらなる充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全科協ニュース全号の掲載・ 理事会・総会の開催通知や各事業の募集案内の掲載・ 研究発表大会口頭発表要旨の掲載 <p>他の博物館等協議会や関連企業等と情報交換し、リーフレットを配布するなど全科協への加盟の広報に努めた。</p>